

# 平成 16 年度第 1 回 理事会 議事録

社団法人 日本滑空協会

1. 日 時：平成 16 年 6 月 19 日（土） 13:00 ～ 14:50
2. 場 所：航空会館 6 階 602 会議室
3. 出席者：牧野 健、高田豊信、秋山崇道、上原孝義、大平雅大、中村暢宏、万場泰雄、  
増谷一夫、吉田 茂、  
委任状：坂井正一郎、吉田正克、板倉忠興、市川 展、岡井紀道、窪田悦郎、近藤良四郎、  
鈴木康一、中塚総一郎  
欠席者：土屋宣幸  
監 事：相原浩人、秋山武彦

議事に先立ち、理事総数 19 名に対し、委任状を含め 18 名の出席があり、定款第 29 条 1 により本理事会は有効に成立したこと、及び定款第 28 条 2 により、会長が議長を務めることが事務局より報告され、また定款第 27 条による議事録署名人には、議長より高田常務理事並びに大平理事が指名された。

## 4. 議 事

### 議案第 1 号 平成 15 年度事業報告案について

議長の指名により、高田常務理事から平成 15 年度事業報告について説明が行われた。

特に市川選手による第 28 回世界選手権での成果並びに滑空スポーツの普及活動などについて報告がなされ、全会一致で承認された。

### 議案第 2 号 平成 15 年度収支決算案について

議長の指名により、大平理事から平成 15 年度収支決算につき報告がなされた。

引き続き議長より監査報告が求められ、秋山監事から適正に処理されている旨報告された後、異議なく承認された。

## 5. 報告事項

高田常務理事より、下記項目について報告が行われた。

### 1) 「指定航空従事者養成施設」について

教育規程の改訂、15 年度の養成実績は 19 名、国土交通省の監査（6 月 25 日予定）等の報告がなされた。

### 2) 「自家用操縦士の技量維持」について

15 年度の準備期間を経て、平成 16 年度より本格実施されることの説明がなされた。

3) スカイ・レジャー・ジャパン'04 佐賀の支援

本年 11 月開催の S L J には、モーターグライダーによる展示飛行を検討している旨報告された。

4) 「航空従事者学科試験標準化調査検討委員会」について

航空従事者技能証明学科試験問題の標準化・適正化を図ることを目的とした検討会を(社)日本航空機操縦士協会が受託し実施している同委員会からの要請により、当協会から鈴木康一理事(同委員会委員長)ほか 3 名が参加している旨報告があった。

5) 「日本国内滑空記章」業務引継ぎについて

(財)日本航空協会の要請により、従来同協会の所掌であり一部当協会が委託されている日本国内滑空記章発行等の関連業務を、平成 17 年度より全面的に引き継ぐための準備作業を開始した旨報告があった。

6. その他

万場理事より、長野市グライダー協会の管理する長野滑空場に着陸するために必要な空域内にラジオ放送用アンテナ(高さは 130 メートルあまり)の建設計画が進んでおり、これが完成すれば着陸進入の大きな障害となり、安全確保が極めて困難になるため、目下同協会が対策を講じているとの報告があった。

当協会としてもできる限りの支援・協力を行うこととし、出席者の総意による同意を得た。

以上で全ての議事を終わり、14 時 50 分議長は閉会を宣言し、散会した。

この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は、押印する。

平成 16 年 6 月 19 日

議 長 牧 野 健

議事録署名人 高 田 豊 信

議事録署名人 大 平 雅 大